

第8回 阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会 ニュース

当日の内容を皆様と共有させていただくため、ニュースを毎回発行していきます。

2020年2月7日 発行

2019年11月26日に「第8回阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会」を茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)にて開催しました。

今回も商店会で営業されている方や阪急茨木市駅周辺まちづくりに関心のある方など、総勢12名の方に参加いただきました。

今回の学集会では、前回ワークショップの内容を深めることを目的に、「阪急茨木市駅周辺の賑わいや憩いのイメージを深めよう」をテーマに、ワークショップを行いました。

○ ワークショップ

『阪急茨木市駅周辺の賑わいや憩いのイメージを深めよう』をテーマに、前回のワークショップで出た意見を共有した後に、JR茨木駅周辺や市民会館跡地エリアとの違いや、人の動き・流れ(回遊性)、自分達の実現できる取組みを考えることを意識しながら意見交換を行いました。最後は各グループの代表者に発表頂き、参加者の意見を全員で共有しました。ワークショップで出た主な意見は以下の通りです。



1 班

【基本的な考え方】

子育て世代、若者、大人などの全世代の人に対して、これまで地域に無かった新しい機能を付加し、魅力を増やすことによりまちが生まれ変わる(まちなかりボーン)。

(駅前取組みイメージ)

- ・ 屋内のイベント広場や園庭の充実した保育園、魅力的な店舗などを備えた都市のコアが必要。

(商店街取組みイメージ)

- ・ にぎわいの中心が本通商店街になるよう歩行者専用道路化し、テーブルやイスを置き、ナイトバザールや音楽などのイベントを開催。
- ・ 茨木にぎわい亭と駐輪場に高齢者や大人向けのにぎわい拠点をつくる。

(中央通り取組みイメージ)

- ・ 一方通行化により歩道を広げ、元茨木川緑地と連動したアートと緑の拠点づくりを行い、幅広い魅力のあるエリアにしたい。



2班

【基本的な考え方】

駅前を中心市街地に開かれた空間にし、まちの資源や生活者の視点を大切に、色々なルートで元茨木川緑地までの回遊性を創出する。

(駅前取組みイメージ)

- ・まちの案内所を設置し、魅力発信。
- ・ジャズイベントの開催やサークル活動など多目的な活動ができる屋内イベント広場が必要。

(商店街取組みイメージ)

- ・人を呼ぶ仕掛けとして、歩きたくなる目立つフラッグなどが必要。商店街で利用できるカートを設置し、買い物の利便性向上。

商店街は生活者の視点（生活者が必要とするものがある）がコンセプト。

- ・資源である古民家を再生し、面で魅力づくりを行う。

(中央通り取組みイメージ)

- ・一方通行化し、ループバスを走らせ、歩行者が快適に通行できる空間を整備。おしゃれな通りにすることで、魅力的なお店を出したくなる通りにしたい。



3班

【基本的な考え方】

地域にあるものを活かし、商店街に人を導く。駅前是人が集まる拠点になり、商店街は人を誘うワクワク感や賑わいを創出し、駅前から中央公園までをつなげる。

(駅前取組みイメージ)

- ・イベントが開催できるデッキを作り、デッキから商店街に人を導く。

(商店街取組みイメージ)

- ・魅力的な店舗やアーケードを屋内広場にみたく、様々なイベントを実施し商店街の魅力を発信。
- ・子どもや高齢者が利用でき、拠り所となる店舗などを商店街に設ける。
- ・外に開いている店舗は利用者がワクワクする。

(中央通り取組みイメージ)

- ・期間限定で歩行者天国にし、キッチンカーを並べるイベントを開催。市民会館跡地エリアや元茨木川緑地にもキッチンカーを並べて飲食できると中心市街地に人が来て回遊性が生まれる。市の隠れた名店がキッチンカーを出すことで店のPRにもなる。
- ・イベント時は、まちづくりを実践する人の手伝いも必要。



次回の学集会は、令和2年2月13日(木)19:00~21:00@ローズWAM 5階

申込先:茨木市 市街地新生課 担当:三浦、参河(みかわ)

TEL :072-620-1821 FAX :072-620-1730 mail:shigaichi@city.ibaraki.lg.jp